



# こどもファンドで活動や、こども審査員をやってみませんか？

子どもたちが、自分たちのアイデアでより魅力的なまちを目指して行う活動を応援する「こうちこどもファンド」。  
より良いまちづくりを、子どもたちが考え提案し、子どもたちが審査もしています。自分たちのまちが住みやすくなるように考え、活動する経験は、楽しいことや勉強になることがたくさんあります。「少し興味がある」「何かやってみたい」「審査員をしたい」などのご相談を随時承っています。  
来年度に向けて、今から何か考えてみませんか。

ぜひ、お気軽に地域コミュニティ推進課にご連絡ください。

【お問い合わせ先】高知市地域コミュニティ推進課  
(TEL/088-823-9080)



## こどもファンドアドバイザーをご活用ください！



こどもファンド  
アドバイザー  
畠中 洋行さん

こどもファンドアドバイザーの活用は、大きく分けて3段階あります。  
1つ目は、ファンドへの応募を考えた時、どんなことをしたらいいかな？何から始めれば？といった相談に対し、一緒に考えを整理するサポート。  
2つ目は、応募した後、公開審査会において、どんな風にみんなの前で発表したら良いかを検討する際のサポート。  
3つ目は、実際に助成を受けて活動に取り組む中で、いろいろな悩みが出てきた際に、どうしたら良いか考える時のサポートを行います。  
助成グループの皆さんがサポートを希望する場合はもちろん、「来年度はこうちこどもファンドに応募してみたいなあ」と考えている方もお気軽に地域コミュニティ推進課にご連絡ください。



派遣費用は無料です。ご希望の場所に出向きますので、積極的にアドバイザーをご活用ください！

## ご寄附をありがとうございました☆

- 《企業・団体様》 ※平成28年4月1日以降（50音順）  
★三愛石油カスタマーサービス株式会社 代表取締役 八田 聡子様  
★株式会社 四国清掃工業 代表取締役 森国 勇 様  
★有限会社 大石電機 大石 典明 様
- 《個人様》  
★久川 憲四郎 様

★お断り★  
昨年度までにご寄附をいただいた皆様は、地域コミュニティ推進課のホームページに掲載しております。

### 皆様の善意をお寄せください

「こうちこどもファンド」は、この事業にご賛同いただける個人や企業の皆さまからのご寄附によって支えられています。未来のまちづくりを支える子どもたちの想いを、市民・企業など社会全体で応援しませんか。子どもたちへの応援の気持ちを、ぜひ寄附としてお寄せください。

寄附の手続きは簡単です。下記までお気軽にご連絡ください。手続き等は地域コミュニティ推進課のホームページでもご確認いただけます。

【お問い合わせ先】高知市地域コミュニティ推進課  
(TEL/088-823-9080)

## Facebookもよろしくお祈いします！

たびたびこちらの紙面でもご紹介していますが、「こうちこどもファンド」は、SNS（ソーシャルネットワークサービス）のFacebookを活用して、助成団体の活動報告等、こうちこどもファンドに関する情報提供をしています。ぜひ、「こうちこどもファンド」のFacebookをチェックして、「いいね！」をお願いします。

高知市役所ホームページのトップ画面にある、こちらのバナーからもご覧いただけます。



【発行元】  
高知市地域コミュニティ推進課  
高知市鷹匠町2丁目1-43  
TEL : 088-823-9080  
E-mail : kodomofund@city.kochi.lg.jp  
URL : http://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/21/

**第20号**  
(平成28年11月)

# こうちこどもファンド 通信

編集・発行：高知市地域コミュニティ推進課 (TEL/823-9080)

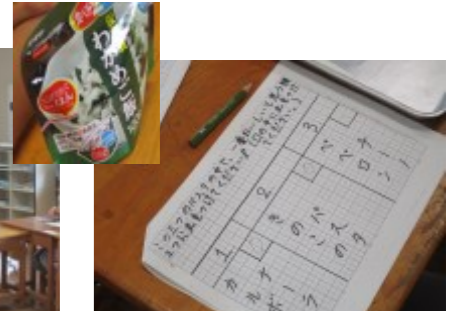
## 助成団体の活動を紹介します！

2月末までの活動期間も中盤に差しかかり、それぞれ活動を進めていっています。今号では10月までの助成団体の活動を紹介します。

実際に子どもたちが活動している様子を見かけたら、「頑張ってるね！」「ありがとう」など、ぜひ声をかけてあげてください。今後も、子どもたちの活動の様子は、Facebookでも随時お知らせしています♪ 子どもたちの応援を、引き続きお願いします！

### 高知市立久重小学校6年生

国際料理交流会担当 チーム「フレンドリー・レストラン」と防災食品担当チーム「ロングライフ」の2チームに別れて企画し、活動を進めています。



チーム「フレンドリーレストラン」では、8月にイングリッシュキャンプを開催しました。地域の外国人の方に学校に来てもらい、アメリカンスタイルの食文化を体験したり、英語を使って交流をしたりしました。今後は、市内の外国人たちを学校に呼んで、国際料理交流会を行います。

チーム「ロングライフ」では、防災食品はどんなものがあるか学習し、試食した後、学校に保存するものを決めます。11月には、全校生徒と地域の人も呼んで地域に保存する食品を決める防災試食会を開催します。

### 一宮家おもてなし隊



7月に防災についての学習、8月に防災グッズ（簡易トイレ）の作成、地域の夏祭りの参加、9月には高齢者施設の敬老会で歌の披露と、施設の方との交流を行いました。防災グッズは、今後他にも作成し、保管できるように計画中です。そのほか、小学校などで朝、あいさつ運動を行っています。今後は清掃活動なども行う予定です。



# Nankai Survival Project (NSP) 実行委員会



7月に、防災フェアを実施し、また岩手県大船渡市立日頃市中学校とテレビ会議を行いました。防災フェアは地域の自主防災会と共に企画・運営し、消火訓練や炊き出し訓練、倒壊家屋からの救助訓練などの訓練ブース、防災講座や着衣水泳などさまざまなコーナーを実施しました。テレビ会議では、それぞれの防災教育の取組発表と、避難所運営ゲーム（HUG）を一緒に行い、意見交換をしました。そのほか、8月以降も、防災危機管理展などいろんな場所で活動内容のプレゼンや、寸劇「俄（にわか）」に防災の内容を取り入れて地域で披露をしています。11月には校区一斉避難訓練を実施します。

## ロサンゼルス日系四世とバスケットボールを通じて交流するチーム



7月末に、LA四世と交流試合を行いました。ホストファミリーとして5日間すごし、Tシャツなど記念品交換を行いました。その他、文化体験などを行い、LAチームと交流を深めました。

現在、交流した選手から感想文を集めて編集し、報告書を作成して各学校に配布します。

## 潮江中防災プロジェクトチーム



非常持ち出し袋について学習し、夏休み中に全校生徒一人一袋、家から保存する物を持ってきて学校に保管しています。その他、防災アンケートの実施、防災カルタを増刷し、校区の小学生に贈呈しました。アンケートは結果を集計し、地域の自主防災組織の方と意見交換を行う予定です。

活動の内容を、校区の小学校やイオンモールなどいろんな所でプレゼンをしています。



## おおつ子



地域でアルミ缶を回収し、現金にかえて地域に貢献する活動を行っています。大津中学校と近くの量販店にBOXを設置し回収しています。他に小学校やふれあいセンターにも設置し、チラシを配って活動を広げていきます。地域の夏祭りにも参加し活動をPRしました。今後は、清掃活動や炊き出し訓練を行う予定です。

## チーム龍馬

ボランティア活動の取材を行い、「龍馬のボランティア八策」を作成しました。また、城西龍馬新聞ボランティア特集号を作成し、龍馬の生誕祭などで配布します。

- 1. 「ボランティアスピリット」を地域と育むでこわす  
議員問題のように、まるで自分たち（坂本龍馬）と地域（西郷隆盛）が協力し合い、そして全国へ広めるでこわす。
- 2. 笑顔で楽しくボランティア  
楽しく取り組むことで作業も速く、やがてその達成感が仲間との笑顔につながる。
- 3. 地域に貢献するぜよ  
地域との関わりを深めることで、災害時でも助け合う関係が築ける。
- 4. 見返りを求めず取り組みぜよ  
利益のためだけにやるといかに、きれいな心で貢献することがいつかは自分のためになる。
- 5. 地域と協力するぜよ  
私たちの住んでいる地域の活性化につながる。
- 6. 周囲をきれいにすれば心もきれいになるぜよ  
身の回りをきれいにすれば、自分の心もあらわれる。まずは環境を整えよう。
- 7. 自主的に行動するのボランティアぜよ  
やらされるのではなく、自分から始める方が楽しさも倍増!
- 8. いきいきとやるぜよ  
暑から「楽しそうにやるボランティア」を目指そうすれば自然にも楽しさが出てくる。

## 龍馬のボランティアへの八策

私利私欲を持たず、日本のために尽くした龍馬の「生き方と行動」ともつなぐ「ボランティア」【voluntary】です。自発的であり「多量」を追求していることが、今日の人々に感動と共感を与えています。龍馬の生き方が、今という「自発性」「無償性」「利他性」「先駆性」です。  
※「高知市子どもまちづくり基金」(こどもこどもファンド)の助成により作成

## 高知市地区社会福祉協議会連合会 南部ブロック情報交換会 タノシムチカラ ～防災～ 10月23日(日) 南海中学校



『潮江中防災プロジェクトチーム』と『NSP実行委員会』が自分達の取組を紹介した後、グループに別れて参加者と一緒にクロスロードの訓練をしました。潮江中は学校や自分達の取組をプレゼン発表し、NSPは取組の中の「俄（にわか）」を実際に実演しました。